

2024年度 自己評価結果公表シート【計画】

学校法人 常楽寺学園 ほづみあそびまなびの森

1. 本園の教育目標

[保育目標] 自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち やろうとする力や向かう気持ち
あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針] そのままの姿を受けとめよう たくさん抱きしめよう たくさんの失敗ができる場所にしよう
「ホンモノ性(学びの対象・人としてのあり方)」を大切にしよう
すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう
一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]

子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう
子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう
子どもたちに人生の魅力を語ろう
子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう
大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

「探求プロジェクト型保育」や自園給食調理の充実、長時間保育や2号認定の受け入れを豊かにする。また、保育の長時間化による愛着不安への対策や配慮を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園庭環境の整備	移転して2年目になるが、やはり草木の育ちが良くないため、土壌改良を含めて検討をしていきたい。園庭の自然環境を良くすることで、子ども達のあそびも充実するため、保護者の方や専門家の方にもご協力を頂き、充実させていきたい。
新しい幼児教育に向けて 取り組む	「探求プロジェクト型保育(園独自)」を掲げて保育・教育を行ってきたが、異年齢保育や好奇心、探求心を育むために、生活を基本として教育スタイルに移行する。 また、年長としての役割や自己解決できるような経験も培うことができるように時間や空間を用意する。 愛着についても今までと同様に保護者の方と共に取り組んでいきたい。 特性のある子ども達への配慮やプログラムにおいても、環境やプログラムを検討する。
文化的な直接体験について	昨年度より日本人以外のスタッフも雇用し、文化の違いや言葉、コミュニケーションの違いなどに気付くきっかけづくりをする。園児や教職員の文化的な直接体験も培われると思いさらに計画を充実していきたい。
給食の質向上を図る	昨年度から、自園給食になるため食育活動や出汁などの「うまみ」にこだわった給食づくりを心掛け、評価の改善にもつなげることができた。今年度についても、味噌づくりなど食べることへの関心を育てていきたい。
保護者同士が関わりあえる 場所づくりについて	昨年度から親睦会、もちつきなどの行事、味噌づくり、畑づくり、おやじの会など保護者の方々にとって関わりあえる居場所づくりを計画できたが、さらに充実していきたい。